

仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)について

平成 29 年 5 月 23 日

国土交通省 四国地方整備局
高知河川国道事務所

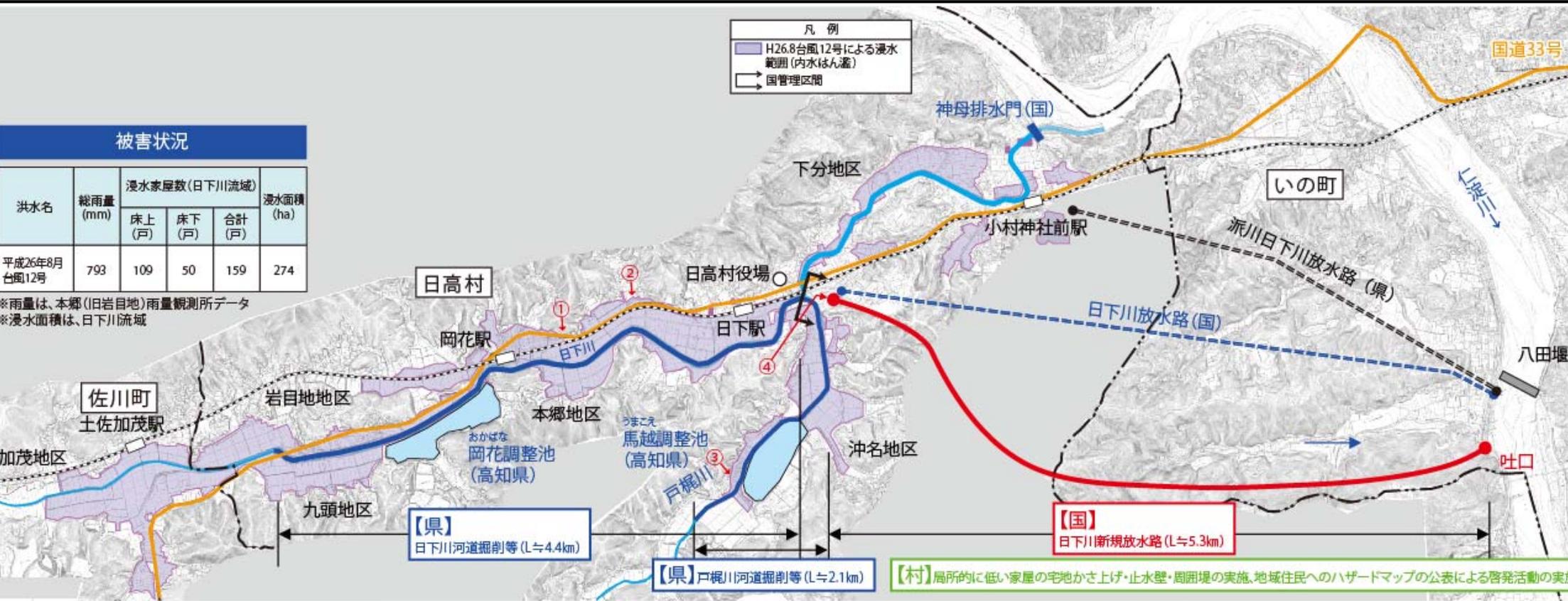
仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)の事業概要(1)

- 平成26年8月の台風12号、11号と立て続けに甚大な浸水被害が発生
- 平成27年度より「仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)」を採択

被害状況

洪水名	総雨量 (mm)	浸水家屋数(日下川流域)			浸水面積 (ha)
		床上 (戸)	床下 (戸)	合計 (戸)	
平成26年8月 台風12号	793	109	50	159	274

※雨量は、本郷(旧岩目地)雨量観測所データ
 ※浸水面積は、日下川流域



①完成前の「村の駅ひだか」浸水



②国道33号の冠水



③沖名地区浸水状況

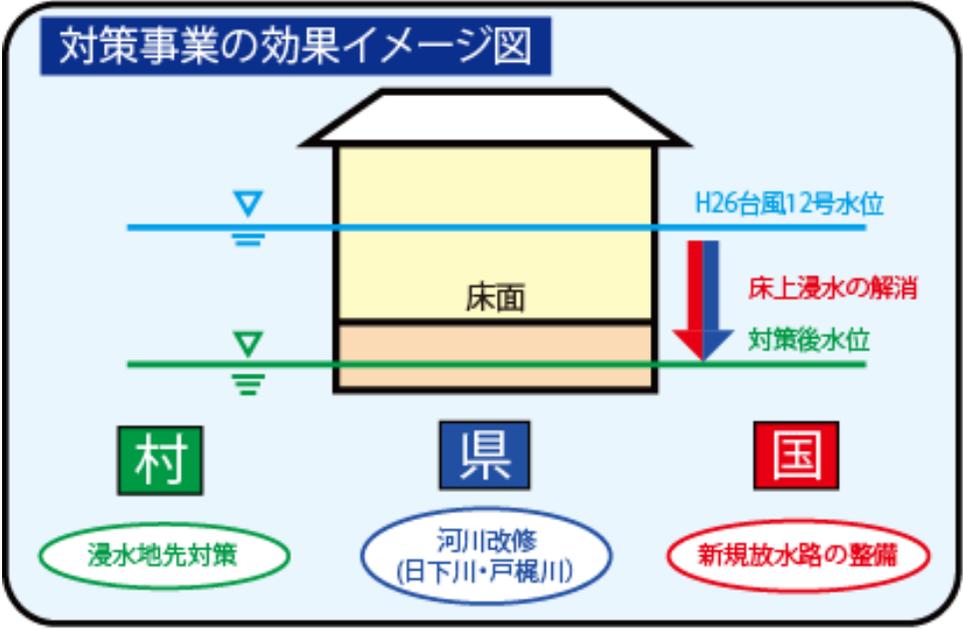


④日下川放水路(既設)の呑口

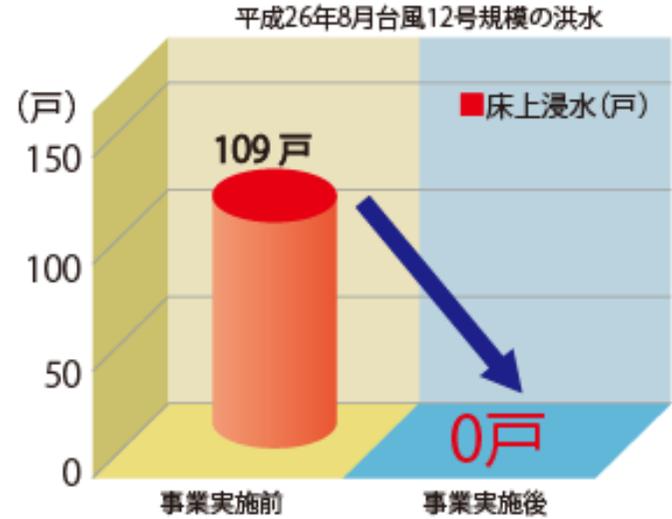


仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)の事業概要(2)

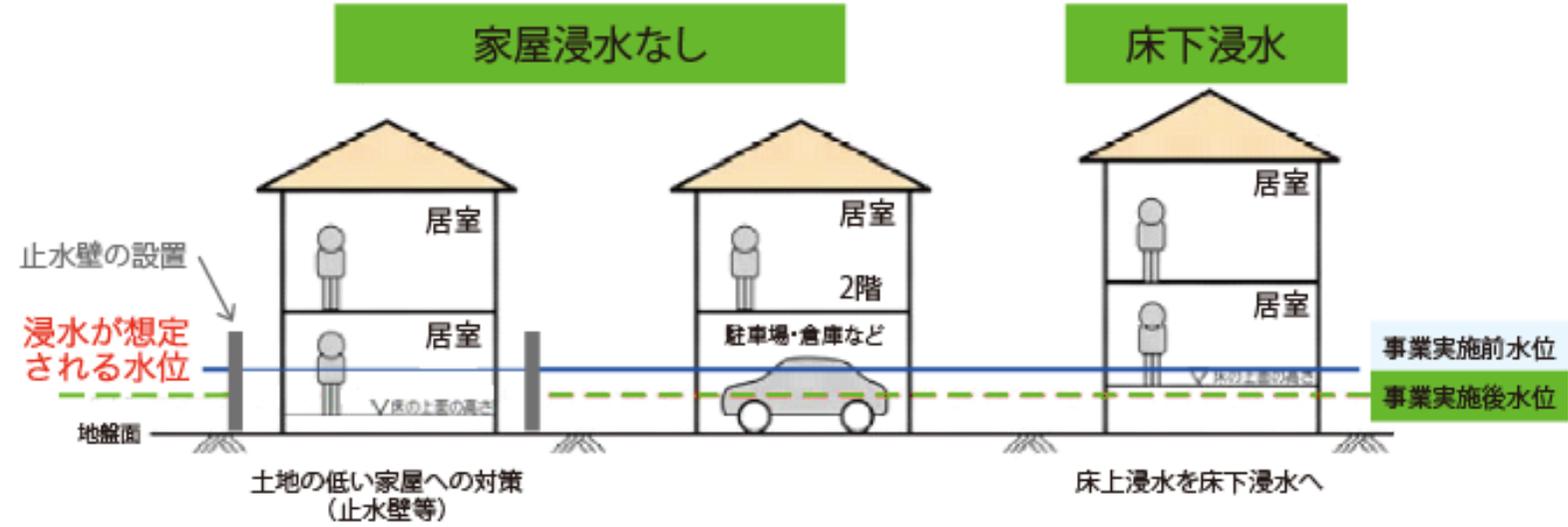
- 平成26年8月台風12号規模の洪水に対して**床上浸水被害を解消**
- 日高地区の排水能力向上のため、**日下川新規放水路を整備**します



全ての事業実施した場合の床上浸水戸数



浸水のイメージ図



仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)の進捗状況

【国土交通省】

- 平成27年4月に仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)に着手
- 地元の下承を得て、**平成28年8月25日に日下川新規放水路ルート公表**
- 平成29年3月に**日下川新規放水路の調査・設計を完了**
- 事業期間は、平成32年度末の6ヶ年

凡例

実施済  計画 

【仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川) スケジュール】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度以降
国土交通省	事業期間	(事業着手)					(事業完了予定)	
	調査							
		(測量)	(ボーリング・地質探査)					
	設計		(完了)					
		(概略設計)	(詳細設計)					
	用地買収・補償				(完了予定)			
	トンネル工事						(工事完了予定)	
呑口導水路工事						(工事完了予定)		
吐口導水路工事						(工事完了予定)		

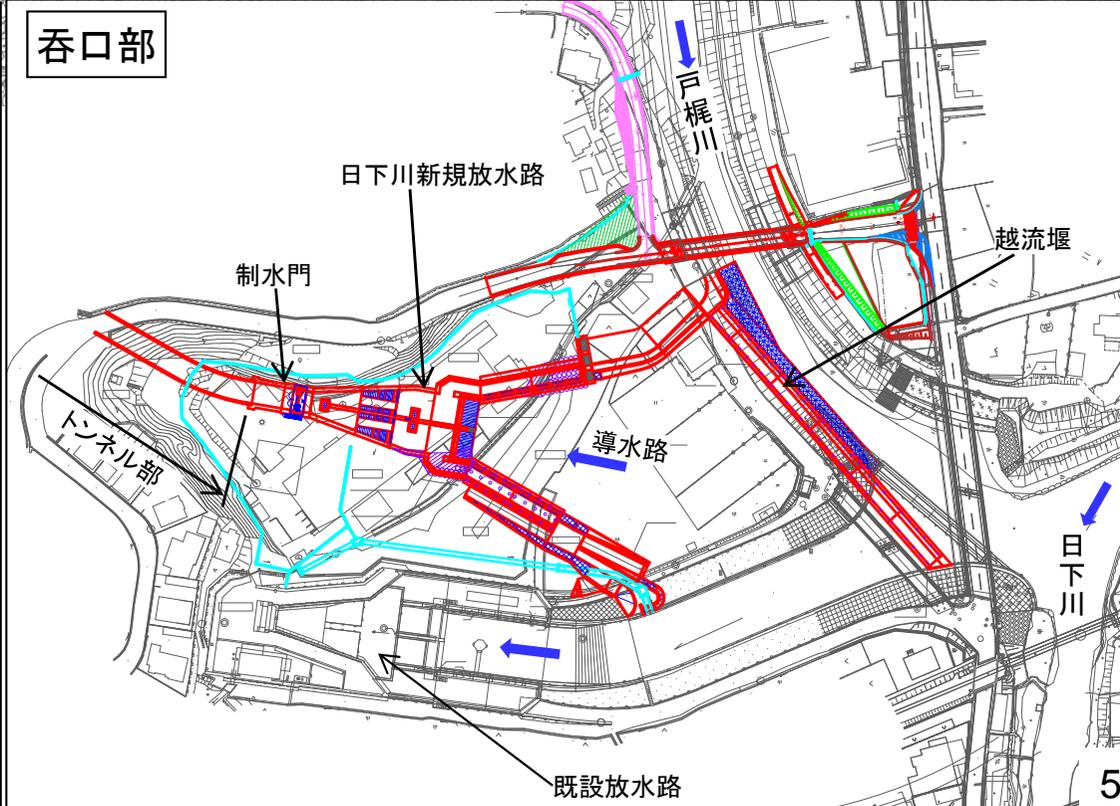
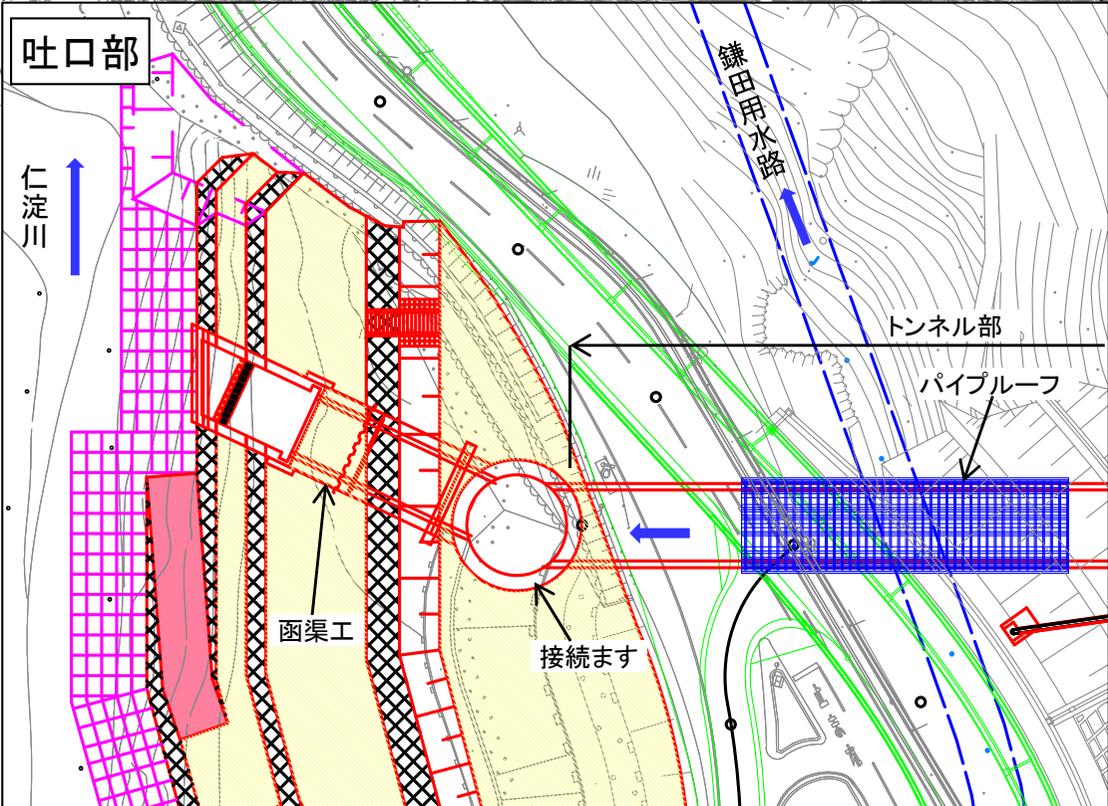
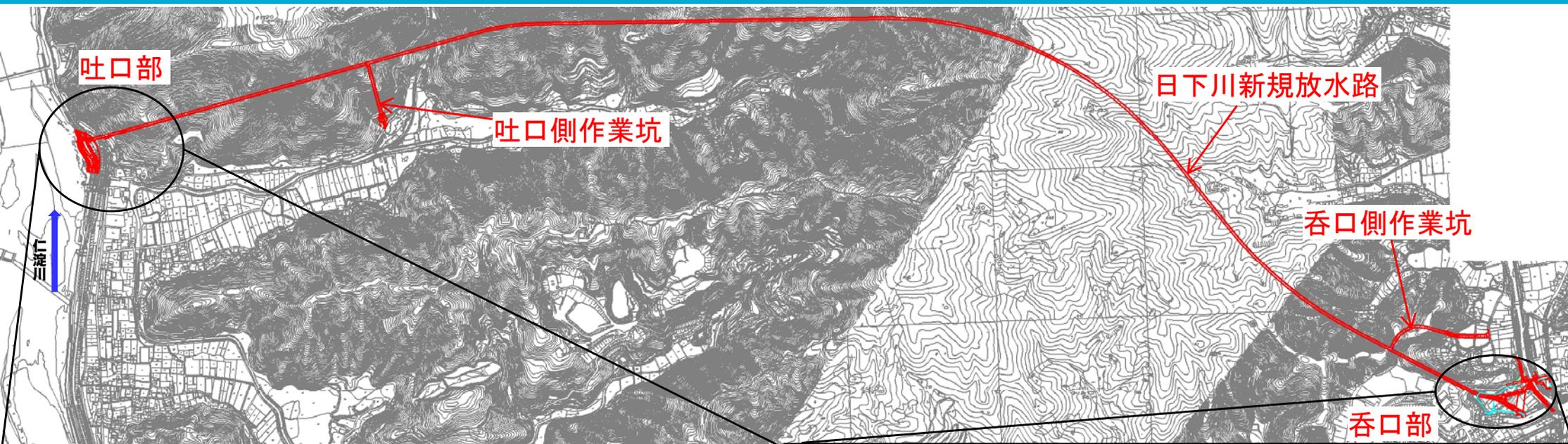
仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)の計画概要(1)

日下川新規放水路ルート

日下川新規放水路 L≒5.3km

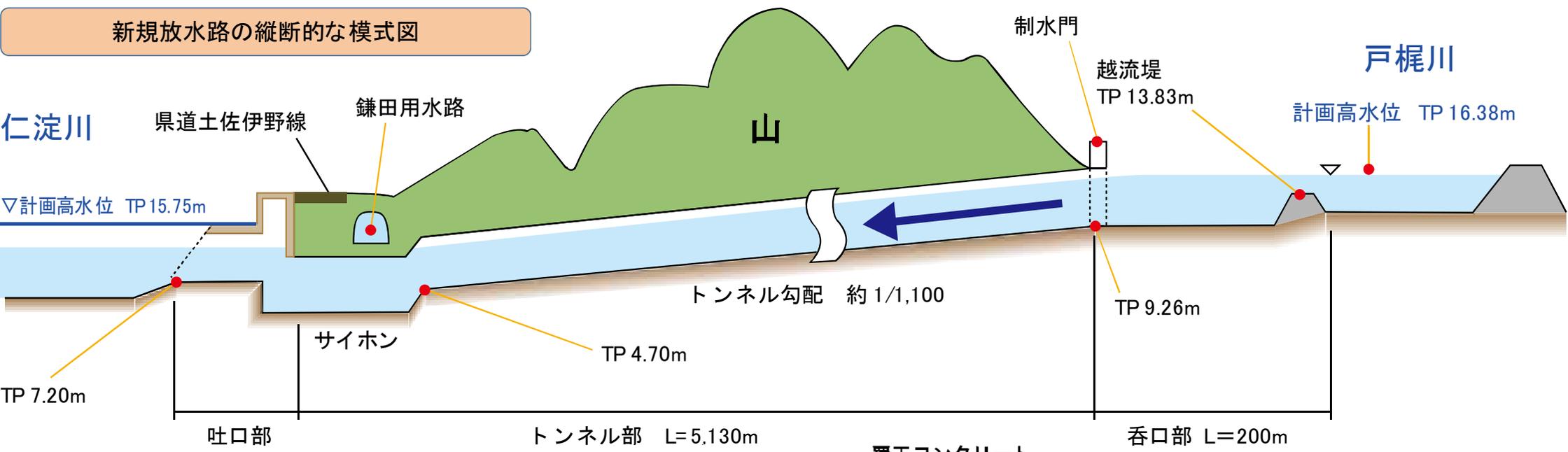


仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)の計画概要(2)

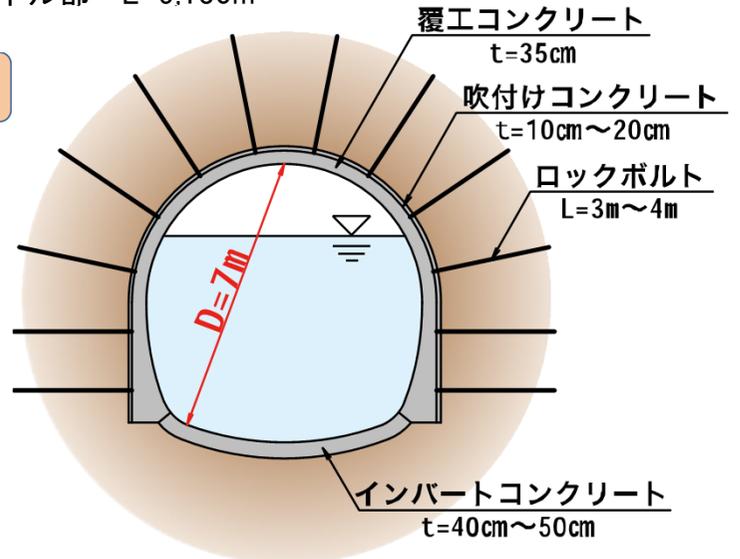


仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(日下川)の計画概要(4)

- 放水路トンネル断面は、既設放水路断面と同じ断面(直径7m)で計画
- トンネル掘削断面積は約50 m²の馬蹄形である
- トンネルの掘削工法として、**NATM**を採用する



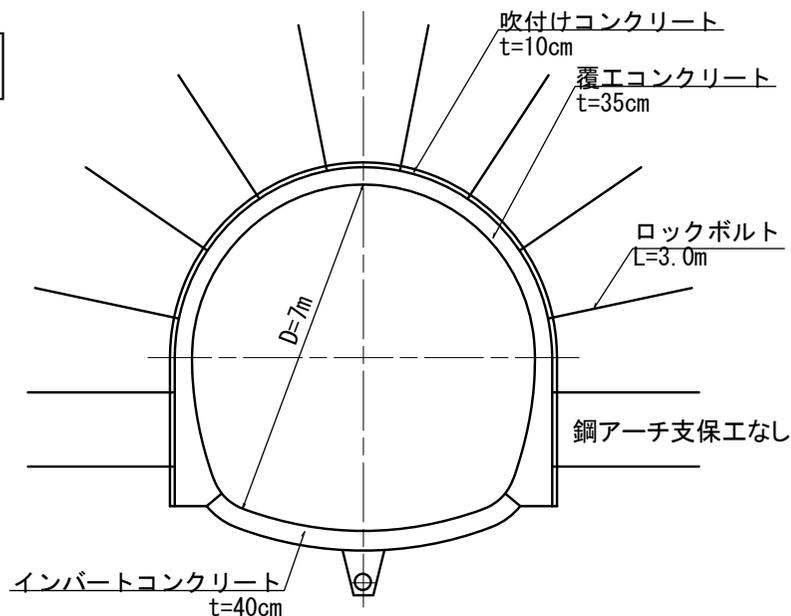
トンネル部標準断面図



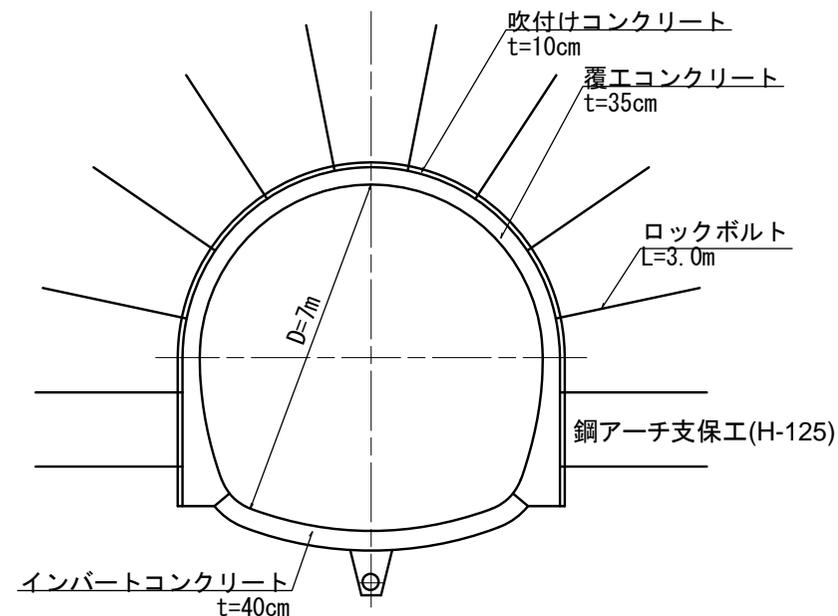
土質区分毎による標準断面図

○土質区分(地山等級C I、C II、D I、D III)ごとに構造断面を設定

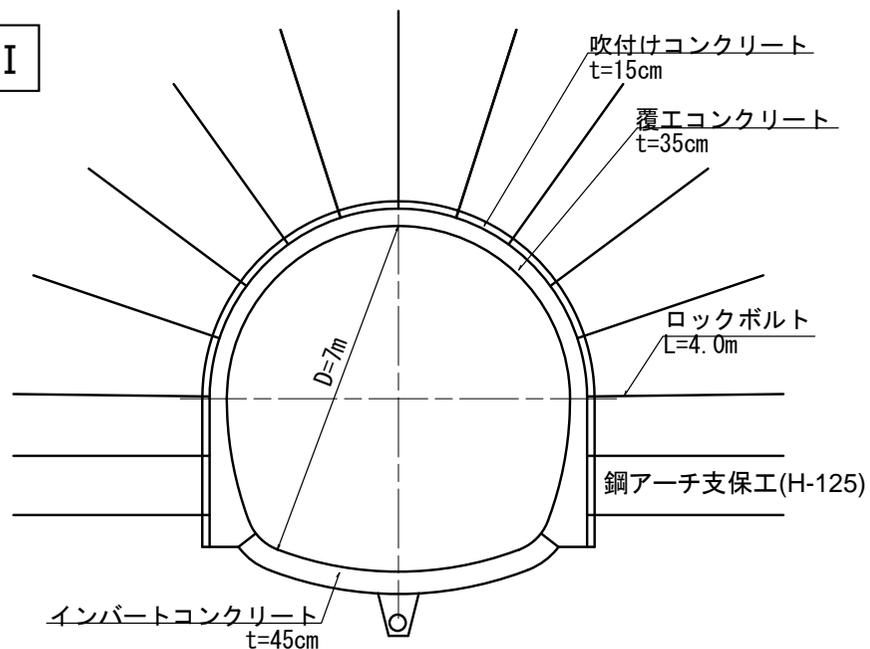
C I



C II

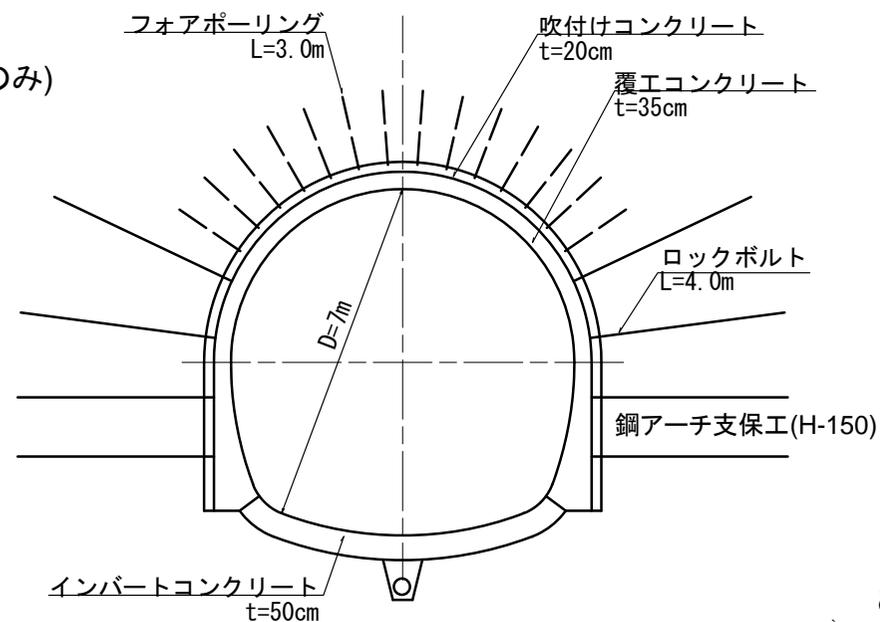


D I



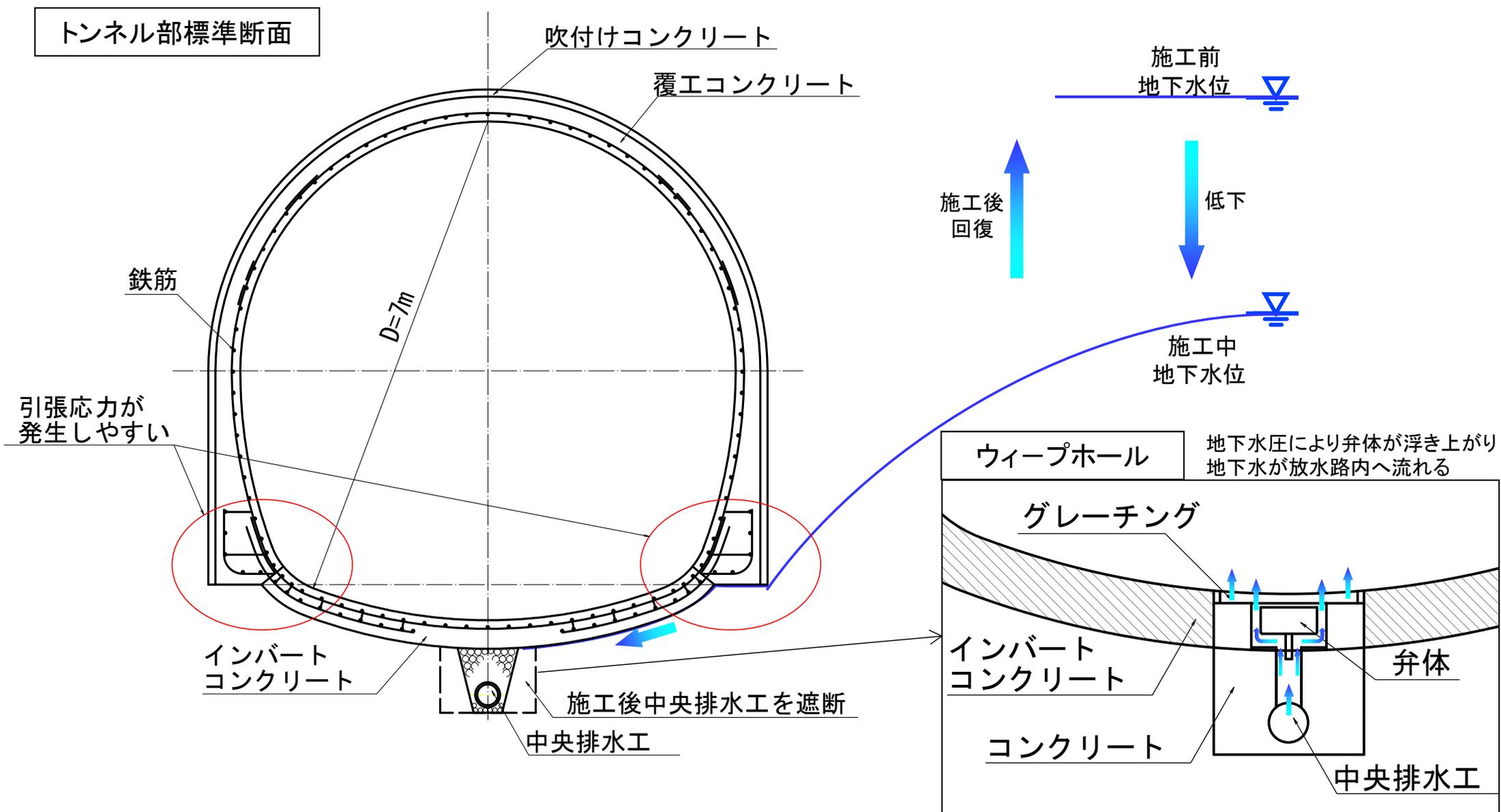
D III

(坑口のみ)



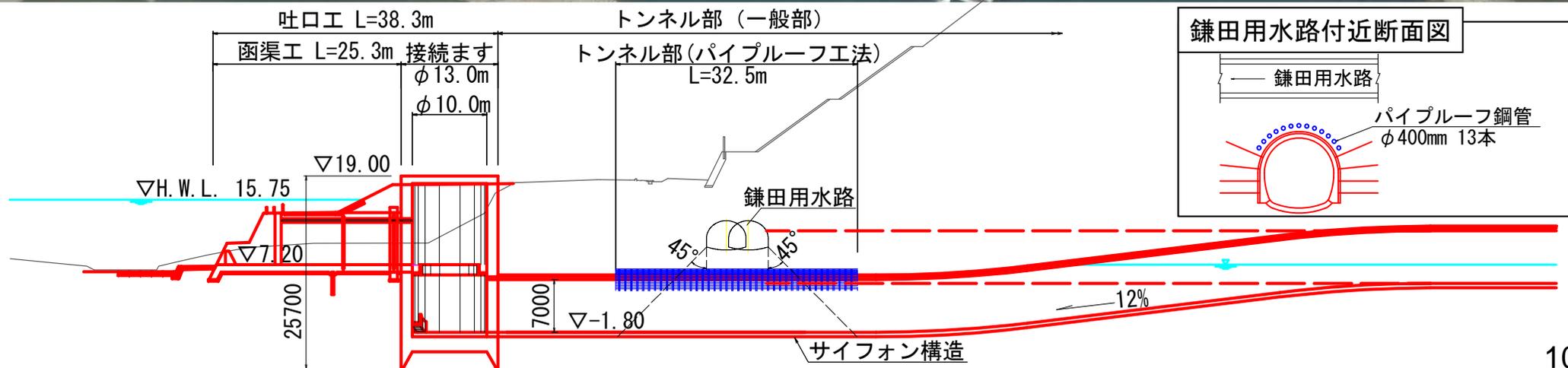
周辺への水利用対策

- 既設日下川放水路トンネル施工において、水枯れが発生し、**水利用に影響**を与えた
- 日下川新規放水路トンネルの施工においては、周辺の**水利用に影響を与えないよう配慮**する
- ◆**着目点**: 工事施工後は、地下水位を施工前の状況に出来る限り回復、地下水位を考慮した設計



吐口部導水施設

- 日下川新規放水路のルートで仁淀川本川の流から上流に向いている
- 鎌田用水路との干渉を避けるため、鎌田用水路下を通過する
- ◆**着目点**: 鎌田用水路下の掘削時に施工での配慮が必要
- ◆**着目点**: 洪水時の仁淀川の流を考慮して、吐口施設の検討が必要

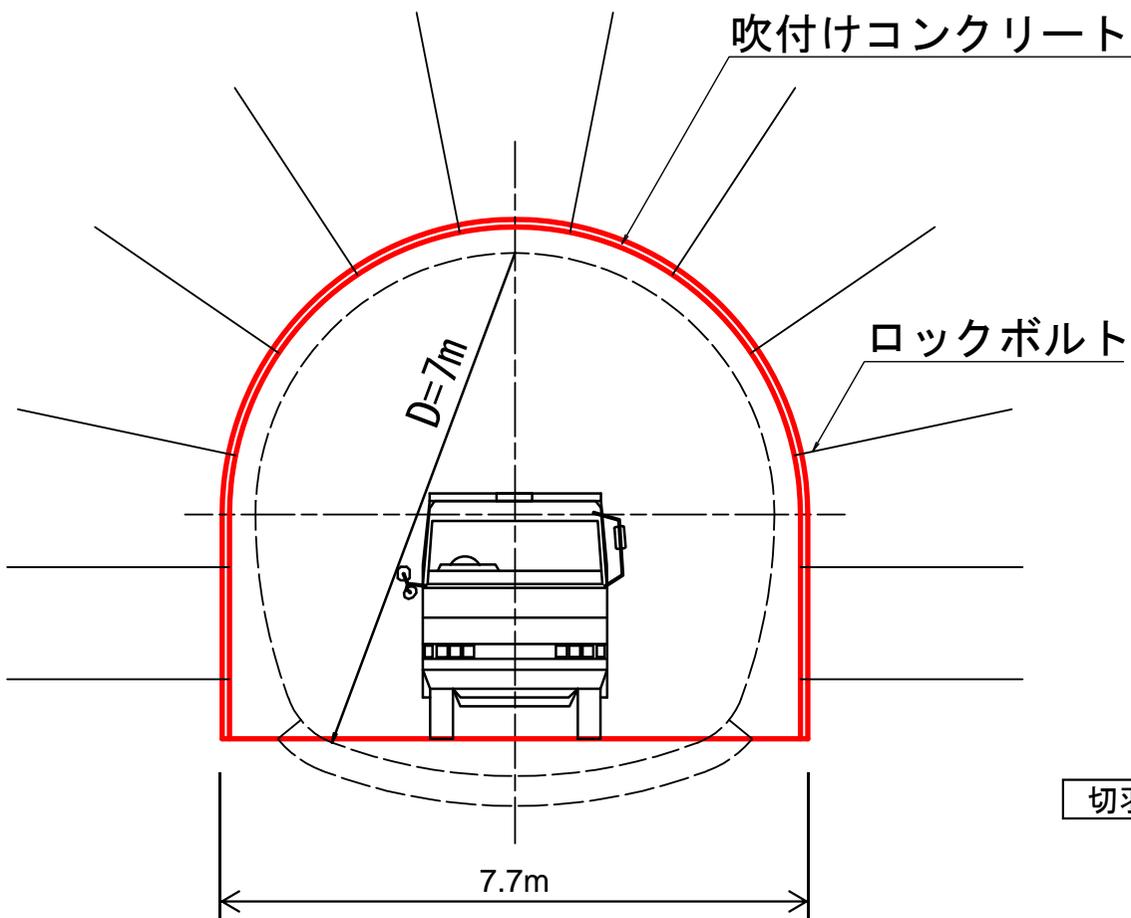


掘削土砂搬出のための回転場の設置

○トンネルの掘削土砂搬出方式に関しては「**タイヤ方式**」を採用

◆**着目点**:トンネル延長が長く、断面は小さいため、ダンプによる掘削土砂搬出には**回転場**が必要

標準掘削断面



回転場イメージ

